

ザンビア政治・経済月報(2015年1月)

主な出来事

【内政】

- ・20日, 大統領補欠選挙実施。
- ・24日, 大統領補欠選挙でのルングPF候補の当選が宣言された。
- ・25日, ルング大統領の就任式が国家英雄スタジアムにおいて開催された。
- ・26日, ルング大統領はウィナ副大統領, チクワンダ財務大臣等一部閣僚を任命。

【外政】

- ・カラバ外務大臣等が第26回AU閣僚理事会(27日, 於: アディスアベバ)に出席。ルング大統領等が第24回AU総会(30日, 31日, 於: アディスアベバ)に出席。
- ・31日, アディスアベバにおいて, 宇都外務大臣政務官はルング大統領と会談。

【経済】

- ・ザンビア政府は, 現在の採掘権料の税率に変更はない旨明らかにした。チクワンダ財務大臣は, 新鉱山税制は公正な道筋であり, ザンビア歳入庁(ZRA)や鉱山企業による計画の策定を簡略化させる旨発言した。
- ・ザンビア開発庁(ZDA)は, 2015年の外国直接投資のプレッジ額として30億米ドル超が誘致されると予測した。昨年のプレッジ額は, 目標額である40億米ドルを超え, 42億5000万米ドルを記録した。

* PF: 愛国戦線(与党), MMD: 複数政党制民主主義運動(第1野党), UPND: 国家開発統一党(第2野党)

* タイムズ、デイリーメールは国営。ポスト、デイリーネーションは民営。

【内政】

- ・2日, シワンガンドゥ郡(ムチンガ州)において, PF支持者と疑われる人々とUPND支持者との衝突が発生。(8日, ポスト)
- ・7日, モング市(西部州)において, PF支持者とUPND支持者との衝突が発生。(8日, ポスト)
- ・13日, ムンコンブウェ南部州大臣(PF党员)はヒチレマUPND候補支持を表明。(14日, ネーション)
- ・18日, チピモ・シニア元ルサカ州大臣(自由の戦士), 逝去。(19日, タイムズ, メール, ネーション)
- ・20日, 大統領補欠選挙実施。(21日, タイムズ, メール, ネーション)

- ・24日、大統領補欠選挙でのルングPF候補の当選が宣言された。(25日、タイムズ、メール、ネーション)
- ・25日、ルング大統領の就任式が国家英雄スタジアムにおいて開催された。(26日、タイムズ、メール、ネーション)
- ・26日、ルング大統領はウィナ副大統領、チクワンダ財務大臣等一部閣僚を任命。(27日、タイムズ、メール、ネーション)
- ・31日、ムンコンブウェ元南部州大臣はPFを離党した旨発表。(2月1日、タイムズ、メール、ネーション)

【外政】

- ・カラバ外務大臣等が第26回AU閣僚理事会(27日、於:アディスアベバ)に出席。ルング大統領等が第24回AU総会(30日、31日、於:アディスアベバ)に出席。(2月1日、タイムズ、メール、ネーション)
- ・31日、アディスアベバにおいて、宇都外務大臣政務官はルング大統領と会談。(2月1日、メール)

【経済】

- ・「アフリカの統合」と称された、ハンス・ジャンセンによる研究結果において、ザンビアや近隣国において自由貿易地域(FTA)が完全に実施されれば、同地域の事業コストは20%まで減少する旨示された。(タイムズ、5日)
- ・ザンビア小規模農家全国労働組合(NUSFAZ)は、ザンビアの市場の日用品価格を下げるには、国内での肥料生産へのさらなる投資が必要であると発言した。(タイムズ、7日)
- ・世銀は、2015年のザンビアの経済成長率を6.7%と予測し、ザンビア成長の見通しは明るい旨発言した。しかしながら、世銀は、そうした好調な成長見通しにもかかわらず、国内リスク及び対外リスクによって、ザンビア経済の中期的な見通しに陰りがみられる旨言及した。(メール、12日)
- ・ザンビア政府は、現在の採掘権料の税率に変更はない旨明らかにした。チクワンダ財務大臣は、新鉱山税制は公正な道筋であり、ザンビア歳入庁(ZRA)や鉱山企業による計画の策定を簡略化させる旨発言した。(メール、14日)
- ・シチンガ商業貿易産業大臣は、カブウェ等の郡における複合的経済特区(MFEZ)の設立は、雇用創出及び様々な原材料に対する付加価値促進の手助けとなる旨明らかにした。同大臣は、ザンビアの織物産業の現状は不安定であると表現したうえで、それゆえにザンビア政府は同セクターの再興を望む旨発言した。(メール、19日)
- ・ザンビア政府は、ルサカ南部複合経済特区(LS-MFEZ)内の投資家による物品の決済を容易に

すべく、同特区におけるドライ・ポートの設立をめざし、民間セクターと協働している旨明らかにした。カムサキ LS-MFEZ 社長は、ドライ・ポートは民間セクターと LS-MFEZ の共同で運営される旨発言した。(タイムズ, 22 日)

- ・ザンビア政府は、第6次国家開発計画の開発目標を達成すべく、貧困削減及び格差の是正とともに、インフラ開発や人材育成の発展に引き続き焦点をあてていく旨明らかにした。(メール, 23 日)
- ・ルサカに医薬品製造プラントを建設しているインド NRB Pharma 社は、今年7月に医薬品の商業生産を開始する。同プラントは LS-MFEZZ に位置しており、プラント建設に約 1000 万米ドルが投資されたと予測されている。同プラントでは、国内や域内、さらには国際マーケットに流通される抗マラリア薬や HIV/AIDS 関連の医薬品の生産を開始する。(タイムズ, 27 日)
- ・IMF は、ザンビアのマクロ経済政策の不安定性により、同国の為替レートやインフレ率に圧力がかかると発言した。IMF は、『2015 年サブサハラアフリカ地域経済見通し』内で、多くのアフリカ経済に回復の兆しがみられるが、保健・医療やエネルギー、インフラに関する課題により暗雲が投げかけられると示唆した。(ポスト, 28 日)
- ・ザンビア開発庁(ZDA)は、2015 年の外国直接投資のプレッジ額として 30 億米ドル超が誘致されると予測した。昨年のプレッジ額は、目標額である 40 億米ドルを超え、42 億 5000 万米ドルを記録した。(メール, 30 日)